

今週のモーニングセミナー報告

令和4年11月2日(水)の講話 <第916回>

テーマ：希望は心の太陽(大丈夫)

講師：香川県高松南倫理法人会 幹事 (株)三好石材 代表取締役社長 三好正人様

五年前、兄から社長を引き継ぎました。ちょうど東かがわ市での初めての講話も同じ時でした。倫理法人会に入会して12年。その間・研修委員長・事務長・副会長・会長の12年間でした。会長職の2年間は終わってみますとあっという間でした。会長になって学んだこと。役員朝礼の前に四役の方たちと事前打ち合わせを声かけていましたが、続きませんでした。ピシーっと声かけられなかった。「しんがり」の話、「殿」と書きます。最後尾の警護をする役割。織田信長を守るために「殿」を務めたのが当時の豊臣秀吉。後方からの援護射撃の役。栞の中でも14条の「希望は心の太陽」が一番好き。4年前に兄から社長の役を引き継ぎ一年目、家内の調子が悪くなり、7代目の会長職をやむなくお断り、行き詰まって、稲澤さんに白羽の矢が当たった。家内は二年間の闘病の末亡くなった。8代目の会長職を受けた時、14条の希望をもって前に進もうと思っていた。富士研究所センターで出会った山口健二さんの「大丈夫」という言葉に出会って、不安になった時、その言葉を唱えると元気になる。家業は石の採掘と加工販売。1900年創業。父は石材の三代目。学生のころからアルバイトで石屋で働いていた。5歳上の兄は、山で石の採掘、私が石の加工と販売。京都での石屋の塾生に募集して学んだ。お墓の七つの機能①道徳考えられる②家の秩序を保つ。③家族の連帯感が生まれる。④経済が安定する。⑤家が安定する。⑥老後が安心。⑦子孫繁栄する。右手：上座。左手：下座。仏さまに花を手向ける姿を喜んでくれる。お寺さんの座布団と一般の人の座布団は違う。座布団の方向(縫い目三方は後ろ。折り目が前)富士研で学んだことの一つは、愛和のみそぎでした。脳裏に浮かんだのは家内でなく兄でした。このような大変な時代でも倫理を学んだお陰で「大丈夫」と思えるようになった。ご自身の体験を通して素直に語られた態度が好感でした。

担当者：赤山 芳隆

高松南倫理法人会の前会長である三好さんに講話をしていただきました。会長時代より副会長時代の方がしんどかった。会長依頼された時にどんな風に断ろうかと考えていた。4年前に会長の話をいただいたときに兄からの社長を引き継ぎ1年目だった。また妻ががんになり夜の会合はすべて断った。妻を大切にしている三好さんの優しさが伝わってきました。妻は2年の闘病生活の末なくなった。愛する妻を亡くしたことは私には想像もできないくらいつらかったことと思います。そして高松南倫理法人会8代目会長となり2年間やり遂げたこと。富士研究所での滝行では妻でなく兄が出てきた。仕事を失敗して会社に損害を与えた時に仕事をやめようと思ったこともあった。JC、多くのセミナー参加を勧めてくれた兄の事を話されました。仕事の話もされ、丸亀城の石垣の工事、お墓を大切にすることは経済的安定、家族が安定、老後の安心などの意味がある話をされました。私も先祖であるお墓を大切にしたいと思いました。三好さんは希望は心の太陽(大丈夫)というテーマで話してくれました。会員さんが感想を述べる時間では堀口さんが「三好さんの笑った時の顔がかわいい」と言っていました。私も笑顔と大丈夫という気持ちを持って行こうと思いました。ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは11月9日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「人生のプライオリティー～人は何を基準に選択するのか～」と題しまして(一社)倫理研究所 法人局 法人レクチャラー 山口県倫理法人会 副会長 (株)フェスティナ・レンテ 代表取締役 野関由味子 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 22社 22名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp